



6 月議会の概要

平成26年度第2回定例会は、6月10日に招集され、26日までの17日間の会期で開かれました。

予算に関する議案については、26年度一般会計を3,011万1,000円増額し、293億1,011万1,000円とする提案がされました。また、条例改正3件、専決処分の承認3件、人事案件1件の8議案と請願1件、陳情3件、意見書案2件について、審議を行いました。

なお、16、17日の一般質問では、個人質問として議員14人が48項目について、当局の考えを質しました。

目次

条例改正（3件）

市附属機関設置条例の一部改正
（議案第46号）

新市民会館の管理運営計画及び就学前教育に関する計画の策定が終了したため、検討委員会を廃止
新たに、市民会館開館準備実行委員会を設置

市税条例の一部改正

（議案第47号）
地方税法の一部改正に伴い、法人市民税の税割及び軽自動車税の税率などの改正

専決処分の承認（3件）

市税条例の一部改正

（議案第43号）
地方税法の一部改正に伴い、市民税、固定資産税に関する規定の改正

都市計画税条例の一部改正
（議案第44号）

地方税法等の一部改正に伴い、同法からの引用条項の項ずれを改める改正

市国民健康保険条例の一部改正
（議案第45号）

地方税法の一部改正に伴い、国民健康保険税の課税限度額及び保険税軽減に関する規定の改正

予算関係（1件）

26年度一般会計補正予算（第1号）
（議案第49号）

歳入歳出予算補正
予算総額に、3,011万1千円を追加し、総額293億1,011万1千円とする
主な歳入補正
がん検診推進事業の国庫支出金633万円
高品質園芸作物生産拡大条件整備事業等県支出金479万円

自治総合センター、スポーツ振興くじ助成金（to to）などの諸収入1,318万円
市債の発行580万円

主な歳出補正

地域づくり推進事業500万円 2団体へ助成
（宝くじの社会貢献事業で、住民が自主的に行うコミュニティ活動に必要な設備などの整備への助成）
がん検診推進事業1、292万円 子宮がん、乳がん検診委託
高品質園芸作物（生産拡大条件整備事業ブロックリー育苗ハウス設備整備）補助282万円
商工会議所補助金30万円
有明浜「海の家」への運営費



有明浜「海の家」

自主防災組織及び防災訓練への補助250万円

人事案件（1件）

教育委員会委員の任命

（議案第50号）
教育委員会委員の任命についての同意
行天武夫 氏（粟井町）

請願（1件）

伊方原発の再稼働に反対する意見書の提出を求める
（請願第1号）

陳情（3件）

手話言語法制定を求める意見書の提出を求める
（陳情第1号）

住宅リフォーム助成制度創設を求める
（陳情第2号）

集団的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める
（陳情第3号）

意見書案（2件）

「手話言語法」制定を求める意見書
（意見書案第2号）

安定的な雇用と公正な労働環境の確保に関する意見書
（意見書案第3号）

提案理由 政府が進める「柔軟で多様な働き方ができる社会」への施策は、労働時間の増加や解雇しやすい正社員の増加をまねき、不安定な労働環境につながる恐れがある。そこで、国会および国に対して意見書を提出する。（委員会付託省略）

7月臨時会

平成26年第3回観音寺市議会臨時会が、7月11日に開催され、工事請負契約の締結1件を同意

◎工事請負契約の締結

観音寺市デジタル式同報系防災行政無線整備事業に伴う工事請負契約を締結するもの



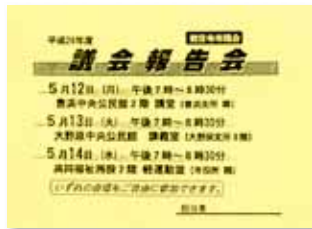
議会報告会が 開催されました

今年で5回目となる報告会を、市内3会場において開催し、188名の参加がありました。

内容は、3月議会において議論された平成26年度予算および主な事業の報告の後、参加者の皆さまからご質問・ご意見をいただきました。

少しでも多くの市民の皆さまに参加をいただくため、今回初めて、各議員が案内チケットを配布し参加の呼びかけを行い、報告会の充実を図りました。その結果、参加人数の増加につながりました。

| 開催概要 | 参加者数 |
|----------------------|------|
| 5月12日(月) 豊浜中央公民館 | 62人 |
| 5月13日(火) 大野原中央公民館 | 66人 |
| 5月14日(水) 共同福祉施設 | 60人 |



各会場とも、多くのご意見をいただきました。ご質問などは、市議会ホームページに掲載予定です。

一般質問項目表 (個人質問)

6月16日(月)

| 順番 | 氏名 | 質問件名 |
|----|------------------|---|
| 1 | 詫間 茂 (友志会) | <ul style="list-style-type: none"> ・本山寺橋と鹿隈橋の渋滞について ・スポーツ振興ビジョンについて ・65歳以上の就業率と医療費について ・介護からの卒業について ●市道の整備について |
| 2 | 大賀 正三 (民政クラブ) | ●市民会館の入札について |
| 3 | 篠原 和代 (民政クラブ) | <ul style="list-style-type: none"> ●がん検診について ●子ども・子育て支援新制度について |
| 4 | 篠原 重寿 (社会民主党) | <ul style="list-style-type: none"> ●障害者施策について ・地域と学校の連携について ・子育て支援の取り組みについて ●平和行政について |
| 5 | 大平 直昭 (友志会) | ●公共施設のバリアフリーについて |
| 6 | 安藤 康次 (民政クラブ) | <ul style="list-style-type: none"> ・ART SETOUCHI 2014の取り組みについて ●介護予防サポーターについて ●災害時における情報伝達体制について |
| 7 | 石山 秀和 (公明党) | <ul style="list-style-type: none"> ●行財政改革の中で公共施設再編の取り組みについて ・入札について ●要援護者名簿について |
| 8 | 伊丹 準二 (民政クラブ) | <ul style="list-style-type: none"> ●保育環境について ●都市計画について ●震災対策について |

6月17日(火)

| 順番 | 氏名 | 質問件名 |
|----|------------------|--|
| 9 | 高橋 照雄 (立志会) | <ul style="list-style-type: none"> ・財政について ●防災について ・少子高齢化対策について ・中心市街地整備の推進について |
| 10 | 友枝 俊陽 (友志会) | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て会議について ・ファミリーサポートセンターについて ●第三子支援策と少子化対策について ・子ども課(仮称)創設について |
| 11 | 豊浦 孝幸 (民政クラブ) | ●瀬戸内国際芸術祭について |
| 12 | 安藤 忠明 (公明党) | <ul style="list-style-type: none"> ●防災について ・高齢者対策について ・防災行政無線について |
| 13 | 藤田 均 (日本共産党) | <ul style="list-style-type: none"> ●社会保障制度改革法についての市長の見解と現状について ・介護保険の改定の現状について ・市内中小業者の現状と育成について ・防災無線と防災対策について ・戦争体験をまとめる運動について ・子ども・子育て支援新制度の取り組み状況について ・学校図書支援事業について ●馬券売り場について |
| 14 | 五味 伸亮 (立志会) | <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化、人口減少対策について ・若者目線でのまちづくりについて ●学校教育の充実と少子化対策について ・中小企業振興について ●中央七間橋線二期工事について ・周辺市との連携強化について |

●印については、質問と答弁の内容を次ページ以降に掲載しています。

14人の 議員が聞いた!

一般質問

個人質問



詫間 茂

市道の整備について

質問 市道の幅4m未満の路地については、舗装後30年〜40年経過しており、劣化が激しく危険な状況のところも見受けられる。順次整備はされているが、高齢化も進み脚の不自由な方も増加している。最近、同じ道路で数人のお年寄りが骨材のむき出しになったところで、転倒してケガをしたという訴えもある。さらに危険箇所をしっかりと調査し、危険性のあるところは早急に対応していただきたいと思うが、いかがか。

答弁 市街地における幅員の狭い道路においては、普通車などの通行が少ないことから、舗装が傷みにくい

ため、舗装後、修繕されていない場合が多い。当初の

アスファルト舗装は30年以上経過した頃より骨材がむき出しになるなどの経年劣化が激しくなり、お年寄りなどの通行に支障をきたす箇所も多々ある。

このような箇所については、市民の皆さまからご要望をいただく中で、現地確認をし、危険性などを判断しながら順次対応していく。



大賀 正三

市民会館の入札について

質問 市民会館の入札について、新聞などに不調と報じられたが、その経緯と結果、今後の対応策などについて、どのように取り組んでいくのか伺う。

答弁 経緯は、本年4月14日に観音寺市制限付き一般競争入札事務取扱要綱第3条の規定により、観音寺新市民会館建設事業建築主体

工事の入札公告を行い、5月29日に参加希望のあった2共同企業体で入札を実施したが、予定価格以下の有効な応札者がおらず、落札に至らなかった。5月30日に地方自治法施行令第167条の2第1項第8号の規定により、最低入札価格の応札者と随意契約に向けて協議したが、不調となった。また、建築主体工事の落札者が決定しなかったため、6月に予定していた機械設備工事および電気設備工事の入札を中止した。

現在、不調の原因を探るため、建築課が中心になって、応札者に事情聴取を行い、詳細な見積書の提出を求めるとともに、設計業者と設計内容について、精査を行っている。

国土交通省においても、入札不調が続ぎ、人件費の上昇も続いているとみて、実勢価格を迅速に反映できるように前倒しで、公共工事

設計労務単価の改定作業に取り組んでいるとのことなので、今後、本市も社会情勢や実勢価格の動向を見極め、設計内容を精査し、近隣他市の状況も勘案し、入札方法や条件設定も含め、円滑な入札に向け、対策を十分に検討していく。



篠原 和代

がん検診について

質問 本市が実施しているがん検診について伺う。

答弁 現在、胃がん、子宮がん、肺がん、大腸がん、乳がん、前立腺がんの検診を実施している。

質問 平成25年度の子宮がん、乳がん、大腸がんの無料クーポン事業の対象年齢と受診率について伺う。

答弁 子宮がんは、20、25、30、35、40歳、乳がん、大腸がんは、40、45、50、55、60歳の節目の年齢で実施。受診率は、子宮がんが22・5%、乳がんが29・4%、大腸がんが17・5%。

【質問】 平成26年度の無料クーポン事業について伺う。

【答弁】 大腸がんは、平成25年度と同様の節目年齢、子宮がんは20歳、乳がんは40歳で実施予定。また、国の検診推進事業として、子宮がん、乳がんは、平成21年度から平成24年度までにクーポンの配布対象者で未受診の人に再度無料クーポンを配布予定。

子ども・子育て支援新制度について

【質問】 平成27年4月の施行予定に向けての本市の進捗状況について伺う。

【答弁】 昨年度アンケートを実施、その結果をもとに「量の見込み・確保方策」の検討を、子ども・子育て会議において行い、9月末までに中間のとりまとめを行う予定。

事業所の確認、保育の認定、利用申請などに必要な電子システムは、10月から運用開始に向け構築作業中。



篠原 重寿

障害者施策について

【質問】 障害者基本法の趣旨に沿い、「障害を理由とする差別の解消に関する法律」が平成25年成立した。法律は、国と自治体に対し、差別解消への取り組みを義務化している。その内容と、市当局の姿勢を伺う。

【答弁】 ①差別解消措置では、市職員が適切に対応するための要領を定めるよう努める。②差別に関する相談に的確に応じ、紛争解決のための体制整備、差別解消への啓発活動を行う。また、関係機関で構成する、差別解消支援地域協議会の準備を進めたい。

平和行政について

【質問】 ①現在、進められている取り組み。②来年度完成予定の新庁舎の活用方法について伺う。

【答弁】 ①毎年7～8月に、本庁舎への横断幕掲示、原爆パネル展や平和ポスター

展を通じ、戦争の悲惨さ、平和の大切さを訴えている。昨年8月からは、あの惨禍を二度と繰り返さないため、元市職員や家族の戦争体験を綴った冊子の中から、31編をホームページで公開している。②新庁舎の外壁への懸垂幕、1階のロビーや2階の常設展示スペースにおいて、平和パネル展やポスター展も引き続き行う。



大平 直昭

公共施設のバリアフリーについて

【質問】 本市の公共施設のバリアフリー化の基本方針と現状、今後の取り組み、それと建設中の市役所新庁舎と建設予定の新市民会館は、

どのように計画されているか伺う。また、のりあいバスのバリアフリー化の取り組みについても伺う。



【答弁】 本市においては、近年整備した施設は、「香川県福祉のまちづくり条例」に基づき、誰にでもやさしい施設となるよう努めている。

新庁舎は、高齢者、障がい者、子ども連れなど、さまざまな市民が来庁される施設なので、段差のない通路や多目的トイレなど全ての人々が利用しやすいユニバーサルデザインを取り入れ、点字案内板、音声案内なども設置する。新市民会館についても同様の計画である。

運行しているのりあいバ

スのうち、ノンステップバスを1台導入している。今後の更新時においても、高齢者や障がい者などが利用しやすいバスの導入を検討する。また、停留所の点字ブロック設置や案内板などの整備は、現在進んでいないが、今後の検討課題としていく。



安藤 康次

介護予防サポーターについて

【質問】 市の介護予防サポーターは現在261名であり、各地域の「いきいきサロン」「居場所づくり」「見守り・声掛け」などにおいて重要な役割を担っている。自治会長、民生委員、福祉委員などの位置づけに対して、ボランティアの人と、その他大勢の枠に入っている。高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、市は介護予防サポーターの位置づけを明確にすべきと考えますが当局の考えを伺う。

答弁 介護予防サポーターには、市長が委嘱状を出して、高齢者への声掛け、見守りや、施設を訪問して話し相手や、配食サービスのボランティアを行っている。地域の高齢者を支え合うことで住み慣れた場所で生活ができるよう支援する活動を、自治会長・民生委員などとともに、それぞれの立場で、また、協力しながら、高齢者の介護予防の推進をしている。



災害時における情報伝達体制について

質問 市は、デジタル防災行政無線導入に向け動いているところであるが、多くの市町村において各家庭に1,000円〜4,000円で安価な防災ラジオの導入が新聞報道で最近見られる。FM放送を利用した防災ラジオの導入の検討を伺う。

答弁 FM放送を利用した防災ラジオの検討については、本市の防災情報システムの更新検討段階から、組上に載せていたが、自前のコミュニティFMの立ち上げが必要で、通常の番組制作費や24時間体制の運営スタッフの経費など、運営面でかなり高額な費用負担が必要となり、断念した。



石山 秀和

行財政改革の中で公共施設再編の取り組みについて

質問 サービスの低下を招くことなく、次の世代に過大な負担を残さない市政運営が大事であり、特に「資産・施設見直し」がうたわれているが、今後の取り組みについて伺う。

答弁 今春統合した観音寺東小学校や各幼稚園、保育所の施設利用や解体・処分を併せて、その他の施設の調査・検討も進めている。第二次集中改革プランでは、

指定管理や民間委託の導入、事務事業や各種補助金の見直し、未利用地の売却のほか、職員数の削減などが順調に進捗している。

要援護者名簿について

質問 今後の高齢化の進展とともに、一人暮らしの高齢者などは増加することが予想される。他自治体では、「災害対応基本条例」などを独自で制定して名簿の共有を可能としている事例がある。本市では、今後どのように取り組むのか伺う。

答弁 現在は、791人の方が登録しており、今後も多くの方の登録を依頼している。平成20年度から、消防署、平成26年度から警察署に名簿の提供を行っている。市社会福祉協議会では、発災時には、民生委員が作成した要援護者の全ての名簿を消防署などの関係機関に提供し、支援する。



保育環境について

質問 国の子育て支援の方針に即した形で、本市の認可保育所数が増える傾向にあるが、本市は、現在保育待機児童ゼロをうたっている。

認可保育所の認可は、市の補助対象でもあり、その増加により、保育環境にアンバランスを生じさせてはいないか伺う。

答弁 認可保育所の増加は、保育環境の向上につながると思われる。今後とも適正な運営が保てるよう、適切な指導を行っていく。

都市計画について

質問 中心市街地に比べ周辺部の道路整備は進んでないように思われる。今後の整備計画について伺う。

答弁 周辺部の旧道については、古い時代に整備され現在に至っている。今後は、地域の要望をお聞きしながら、各地域の特性を活かし



伊丹 準一

た町づくりを目指し、緊急性の高いものから整備を進める。

震災対策について

質問 各家庭の耐震の進捗状況について伺う。

答弁 耐震工事補助金を1・5倍に引き上げた結果、工事費も増加している。機会があるごとに啓発していく。

質問 非難所は風水害用と震災用の2種類あるが、その区別は明確に理解されていない。特に本市は最大震度7とされる震災の可能性があり、避難所での2次被災の危険もあり大変心もとない。目標年度を決めた対応をするべきだと思うが、市当局の考えを伺う。

答弁 両支所をはじめ、避難所の整備は、今後の公共施設の再編整備の中で、機能強化を図っていききたい。





高橋 照雄

防災について

質問 香川県、地震、津波被害想定第四次公表の中で、地震発生後、避難ができない浸水の深さ30cmの到達時間予想図によると、観音寺小学校、幼稚園、保育所は30分以内の浸水区域となっている。これは津波避難対策特別強化地域指定基準に該当していると思うが、考えを伺う。

答弁 南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別処置法に基づき「地震防災対策推進地域」と「地震津波避難対策特別強化地域」が指定されたが、地震津波避難対策特別強化地域は「津波により30cm以上の浸水が地震発生から30分以内に生じる地域」と定義付けられている。定義の「津波により」とは、地盤沈降による浸水を指すものではなく、津波そのものによる水位変化を指しており、質問の指定基準に本市は当

てはまらず指定されていない。なお、政府は今回の指定に当たって、香川県の被害予測を承知の上で指定したと伺っている。

質問 これは、地震発生に伴い、堤防の崩壊や地盤沈降、液状化などによるもので、津波によるものではないとのことだが、この件に関し、香川県危機管理総局より本市にも文書による回答や意見を求められているが。

答弁 避難対策特別強化地域は、指定基準から言うところ、本市は指定されない状況にあり、積極的に指定を願うものではないと考え、「意見なし」と口頭で回答した。



友枝 俊陽

第3子支援策と少子化対策について

質問 今年度4月より就学前第2子以降の保育料無料化が実施され、子育て世代の経済的負担は大きく軽減されることとなり大変喜ばれている。

市内全ての就学前第2子以降の無料化の実施は、四国初の実施で全国的にも極めて早い実施である。

現在、第3子以降の保育料は国の指針に基づき、3歳未満は保育料が無料になっているが3歳以上の場合にはケースにもよるが、保育料を徴収している。

この第3子以降も就学前まで完全に保育料を無料にすることにより、経済的負担と少子化対策にもなるのではないかと。未婚・晩婚が進む中でも比較的、本市では2子以上の子どもを望む方が多いことも、過去のアンケート調査でも明らかにっており、第3子の保育

料の完全無料化を考えてみてはどうか。

答弁 第3子以降の保育料免除の事業は、3人以上の子を現に保護者が養育している子のうち第3子以降の3歳未満児の保育料を免除し、就業と子育ての両立を支援するとともに、経済的負担を軽減し、少子化対策に資することを目的とするものである。本市では、5月1日現在で103名の児童が対象となっている。

この事業は、国の指導により実施しているが、第3子以降の保育料を就学前まで無料化することが最善の方策であるかどうかは、他の状況などを踏まえ、今後研究しながら、さらに子育てしやすいまちづくりに努めていく。



豊浦 孝幸

瀬戸内国際芸術祭について

質問 アート瀬戸内2014の観音寺市での開催内容、実施時期および実施体制について伺う。

答弁 瀬戸内国際芸術祭2013閉幕後に残る作品の有効活用と、地域特有の資源を活用した伊吹島の魅力の継続的な情報発信、そして島の活性化につながるイベントを考えている。具体的には、瀬戸内国際芸術祭2013のアーティスト「みかんぐみ」による伊吹島のワークショップや、観音寺の夜を楽しむ夜のまちあるき「よるしるべ」の開催を県実行委員会に要望しているところである。また、市実行委員会での実施は、市実行委員会と伊吹島実行委員会の合同で企画部会を設立し、その企画部会においてイベントを企画立案し、実施していく予定である。



安藤 忠明

防災について

質問 ため池ハザードマップが市民に配布された。その概要と使い方について伺う。

答弁 ため池ハザードマップは、市内の貯水量10万トン以上のため池が地震により決壊した場合を想定し、氾濫水の浸水範囲、到達時間などの情報を市民の皆さまに提供することで、災害時の自主的な避難に役立てていただくことを目的として作成している。使い方については、ハザードマップでは、ため池が決壊した場合の浸水の深さや到達時間、そして家屋が倒壊するおそれのある範囲や歩行困難区域などを表示している。これにより被害状況を想定した避難訓練に役立つほか、防災教育、防災意識の向上と啓発にもなる。また、防災を意識した農村環境づくりを推進する一助ともなる。このハザードマップはため

池が決壊しそうだという時に、身を守るために大変重要な資料である。家庭で大切に保管していただき、家族がいつも目につくようなところに掲示して、防災意識の向上に役立てていただきたいと考えている。また各自治会にも集会場や自主防災組織で利用できるように配慮し、マップを多めに配布している。



藤田 均

社会保障制度改革法について

質問 ①市長の見解はどうか。

②医療分野はどうか。
③今年医療費2割負担の対象が約600人ですから、今後5年で約3,000人

が2割負担の対象になる計算である。国保の限度額を伺う。

答弁 ①医療は、70歳から74歳の医療費自己負担を1割から2割に引き上げ、国保の運営主体を都道府県に移す。介護は、要支援サービスを市町村事業に移行、所得が一定以上の利用者の自己負担の引き上げなどを盛り込み、平成29年度までに実施する。

②医療費の窓口負担は、70歳になられた翌月から2割負担である。今年70歳を迎える被保険者数は約600人である。

③限度額は77万円から81万円に改正。対象世帯は200世帯から400世帯も。

馬券売り場について

質問 ①市長の考えを伺う。

②馬券を売る場所は、地元4自治会の同意があるとのこと。自治会や教育関係・育成会などへの周知はできているのか伺う。

答弁 ①自治会の意向が一番で、市の旧競輪場施設の有効利用になると考える。②本年2月12日に、設置運

営者と競馬組合から周辺自治会長に、場外馬券売り場の説明があり、自治会ごとに総会などで周知した。



五味 伸亮

学校教育の充実と少子化対策について

質問 ①荒川区では、読書を教育の軸とし、電子黒板やタブレットを活用した授業など、教育の充実を図っている。公立義務教育でこれほどの差があり、子育て世代の定住を促す教育の充実は、本市の課題であると考えますが、教育長の考えを伺う。

②市内での馬券販売に関して、新たに競馬に興味、関心を抱かせること自体、教育環境に影響があると思う。子を持つ多くの親はそのような認識を持っていると思うが、教育委員会として、この件について議論されたのか伺う。

答弁 ①読書教育の推進やICTを活用した授業改善

も重要な取り組みであると考え。本市では「読むこと」「書くこと」「聞くこと」「話すこと」を基盤とした学力の育成、自他を尊ぶ心の育成に向けた道徳教育の充実、「子ども読書の街づくり」事業による夢を育む読書活動の推進に取り組んでいる。

②文教上の影響は、ほとんどないと思う。議論はしていない。

中央七間橋線二期工事について

質問 地域住民の理解が大前提ではあるが、拡幅工事に伴い十分な用地が確保できるならば、道の駅を移設し、中心市街地のプラットホームとしての活用。産直市の設置や若者向けのカフェやショップなどを誘致し、日常交流人口を大幅に増やすなど、議論すべき構想はたくさんある。駐車場の立体化により、敷地内での完結も可能だと考えるが、執行部の考えを伺う。

答弁 ご提案については、できるものは取り入れていきたいと考えている。

総務常任委員会

6月20日開催

総務部関係5議案、一般会計補正予算が付託され、審査した結果、全議案について可決・承認された。しかし、一般会計補正予算の関係部分を審査した建設経済委員会から、「商工観光課分補助金について十分な精査を行うまで執行するべきでない。」と附帯決議がされたとの報告を受けた。

また、請願1件と陳情2件が付託され、請願は継続審査、陳情2件は採択と不採択となった。

【請願審査】

「伊方原発の再稼働に反対する意見書の提出を求める請願書」

伊方原子力発電所の再稼働を認めないよう要請する意見書を国と愛媛県に対し提出するよう求めているもの。

【主な意見】

- ・事故を見るといろいろな問題点もあり、再稼働には反対なので採択すべきである。
- ・議論すべき問題はあるが、電力供給が安定するまで稼働せざるを得ない部分もあるのではないかと。国の考え方もあるので、採決は時期尚早ではないか。

【採決結果】

継続審査（継続5人・採決1人）

【陳情審査①】

「手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情書」

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、さらには手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした法律の制定を求める意見書を、政府に対し提出するよう求めているもの。

【採決結果】

採択（全会一致）

【陳情審査②】

「集团的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書の提出を求める陳情書」

日本の「自衛」とは無関係で、なおかつ海外で戦争する国となる集团的自衛権行使を容認する憲法解釈の見直しを行わないよう求める意見書を、政府に対し提出するよう求めているもの。

【主な意見】

- ・憲法を解釈してできないを決めることには反対であり、意見書を提出すべきである。
- ・憲法論でいくと憲法9条があるので、解釈変更は違憲であるが、今の国際情勢の中での緊迫した対応に関して、ぎりぎりの判断に迫られており、しっかりと議論はすることが必要である。

【採決結果】

不採択（賛成1人・反対5人）

建設経済常任委員会

6月19日開催

一般会計補正予算では、経済部関係1議案が付託され、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定した。しかし、商工観光課分で商工会議所への有明浜海水浴場「海の家」に対する補助金について、賛否が分かれ、いろいろな意見が出された。また、付託された1件の陳情書については審査の結果、継続審査となった。

商工観光課分「商工会議所補助金30万円」(海の家)

【主な意見】

- ・平成24年度に500万円一回だけの補助金でよいと説明を受けていたのにおかしいのではないかと。
- ・「海の家」を一度やめたら再開は難しいと聞いている。

【採決】

可決（賛成4人・反対2人）

【附帯決議案提示】

補正予算可決後、委員より附帯決議案の提示があった。有明浜海水浴場「海の家」に対する補助の必要性や他の商工団体への補助金の在り方との整合性について、再度調査・検討を行い、その結果を議会に報告し、議会の意見を聴取し執行すること。

【採決】

付帯決議案に対する賛否（賛成4人・反対2人）

【陳情書審査】

「住宅リフォーム助成制度創設を求める陳情書」
家を増改築、修繕などのリフォームを行うときに、地元業者の各種リフォーム工事に対して、一定の条件で自治体から助成金が出される制度の創設を求めるもの。

【主な意見】

- ・市も、4月1日から「空き家リフォーム事業補助金」を開始し、いろいろな施策がある。市の予算上の問題もあり、他市の状況を踏まえ継続審査にしたらどうか。
- ・経済状況も好転し住宅着工も増えている。中小企業振興計画策定が始まるのでその推移を見守りたい。
- ・運営方法は市が考えるので、採択してもよいのではないかと。

【採決】

継続審査（賛成5人・反対1人）

文教民生常任委員会

6月18日開催

教育部1議案、一般会計補正予算の学校教育課部分、市民スポーツ課部分、健康増進課部分が付託され、審査の結果、全議案について、原案のとおり可決すべきものと決定した。

常任委員会の行政視察の報告

他の自治体の取り組みを視察させていただきました。

視察で学んだ内容は、多くの委員が一般質問に取り入れ、執行部に提案をいたしました。また、文教民生委員会は、議案審査の後、市担当部局と視察内容について意見交換会を実施し、情報の共有を行いました。

総務委員会

日時 平成 26 年 5 月 21 日(水)～23 日(金)

場所・事項 ●神奈川県鎌倉市【公共施設再編の取り組みについて】

人口推移や公共施設の現状と財政分析、市民アンケートや利用者アンケートによる公共施設の課題提起。
市民ワークショップも参考に公共施設再編基本方針を策定。

●東京都渋谷区【災害対応力強化の取り組みについて】(写真①)

災害時要援護者対策として、平成 5 年に「手上げ方式の名簿作成」、平成 18 年に「災害時要援護者名簿共有方式」を導入。
大震災の教訓に基づいた、避難所や医療、ボランティアなどの体制強化と帰宅困難者対策などの強化を図る。

●東京都足立区【公契約条例について】

公契約の適正な履行と良質な区民サービスの確保や労働者の適正な労働条件の確保と労働環境の整備、事業者の適正な評価と区内事業者の育成、併せて入札・契約の透明性と公平・公正な競争の確保を目指して制定した。

●神奈川県厚木市【行政改革(経営革新)の取り組みについて】(写真②)

平成 19 年度から事業仕分けを実施したが、市民などの意見が反映されていないとの反省点が現れ、平成 20 年度から外部評価が開始された。

外部評価委員会は、学識経験者・企業経営者・公募市民で構成され、平成 23 年度からは対象事業の選考も外部評価委員会が実施。
外部評価の結果については、所管課に送付され、次年度以降の予算に反映させる。

参加者 委員長 立石隆男 副委員長 篠原和代

委員 秋山忠敏、高橋照雄、石山秀和、大矢一夫、詫間 茂



写真① 渋谷区



写真② 厚木市

建設経済委員会

日時 平成 26 年 5 月 20 日(火)～22 日(木)

場所・事項 ●北海道札幌市・札幌国際芸術祭実行委員会【札幌国際芸術祭について】

札幌の自然や街並み、公園、歴史的建造物、地下歩行空間を舞台とし、環境的課題や過去の歩みをアートとして振り返ることで、都市と自然との共生の在り方を問う。

●北海道江別市【江別ブランド・経済ネットワーク・「江別小麦めん」の取り組みについて】(写真③)

小麦(ハルユタカ)の初冬まき技術の確立と小麦に携わる人々の交流。生産者、製粉業者、製麺業者の連携を通して「江別小麦めん」のブランド化。地場産業の高付加価値化への取り組み。

●北海道美瑛町【日本で最も美しい村連合について】

フランスの「最も美しい村運動」をモデルとして運動を開始。素晴らしい地域資源を持ちながら過疎にある地域が自らの地域に誇りを持ち、住民によるまちづくり活動を展開。地域の活性化、地域経済の発展に寄与する。美瑛町がその先頭になって活動している。

●北海道美瑛町【美田の杜社中について】(写真④)

廃校を利用して起業家の育成、地域コミュニティの活性化の取り組みについて現地視察。

●北海道旭川市【まちなか活性化交流拠点創出事業について】

空きビルスペースを活用し「まちなか交流館」を設置。観光情報センター機能、地場産品ショップ、創業チャレンジショップなど、複数の機能を持った交流拠点を形成。人・モノ・情報の交流を活性化させ、中心市街地のにぎわいの創設を図る。

参加者 委員長 安藤康次 副委員長 豊浦孝幸

委員 安藤忠明、大平直昭、井下尊義、友枝俊陽



写真③ 江別市



写真④ 美田の杜社中

文教民生委員会

日時 平成26年5月21日(水)～23日(金)

場所・事項 ●千葉県山武市 【認定こども園】(写真⑤)

少子化や多様化する子育てニーズに対応するため整備された、幼保一体型施設を視察。幼稚園機能と保育園機能を有した就学前教育施設であり、建設までの経緯や一日のカリキュラムを学んだ。また安価で災害に対応した創造的な施設も参考になった。

●東京都葛飾区 【学校地域応援団】

学校と地域ボランティアを結ぶコーディネーターを各地域に配置し、それぞれの学校に応じたボランティア活動を行い、学校を地域で支え、子どもを地域で育てる取り組みを研修。アンケート結果においてもその成果が現れており多忙な教育現場を支える地域の大切さとその具体的な組織体系、事例を学んだ。

●東京都荒川区 【図書館の充実】(写真⑥)

教員図書司書以外に司書を各学校に配置し、学校図書室の充実を図っている現場を視察。読むことを教育の軸に、タブレットや電子黒板の導入など、教育ビジョンを明確にし、予算を含め、学校教育の充実を強く進めている。

●埼玉県熊谷市 【くまびあ】

廃校施設を総合生涯学習施設として活用されている現地を視察。生涯学習の充実を図っているが、予算的な難しさが大きな課題。計画段階での施設の位置づけや具体的な運営計画と市民ニーズの把握が大切である。

参加者 委員長 五味伸亮 副委員長 篠原重寿
委員 大賀正三、井上浩司、伊丹準二、藤田 均



写真⑤ 山武市



写真⑥ 荒川区

審議結果

| 件名 | 議員名 | | 賛成 | 反対 | 議決結果 | 豊浦 | 篠原 | 藤田 | 五味 | 井下 | 立石 | 伊丹 | 友枝 | 詫間 | 篠原 | 大久保 | 高橋 | 安藤 | 大賀 | 秋山 | 大平 | 井上 | 大矢 | 石山 | 安藤 | |
|-------------------------------|-----|----|----|----|------|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
| | 孝幸 | 和代 | 均 | 伸亮 | 尊義 | 隆男 | 準二 | 俊陽 | 茂 | 重寿 | 隆敏 | 照雄 | 康次 | 正三 | 忠敏 | 直昭 | 浩司 | 一夫 | 秀和 | 忠明 | | | | | | |
| 平成26年第2回(6月)定例会 | | | | | | 市長提出 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 専決処分の承認(税条例の一部を改正する条例) | 18 | 0 | 承 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 専決処分の承認(都市計画税条例の一部を改正する条例) | 18 | 0 | 承 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 専決処分の承認(国民健康保険税条例の一部を改正する条例) | 18 | 0 | 承 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 附属機関設置条例の一部改正 | 18 | 0 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 税条例等の一部改正 | 17 | 1 | 可 | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 放課後児童クラブ条例の一部改正 | 18 | 0 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 一般会計補正予算(第1号) | 16 | 2 | 可 | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 教育委員会委員の任命 | 18 | 0 | 同 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 請願 | | | | | | 伊方原発の再稼働に反対する意見書の提出を求める請願書(委員会の継続審査の決定に対する賛否) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 15 | 3 | 継 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 陳情 | | | | | | 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 18 | 0 | 採 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 陳情 | | | | | | 住宅リフォーム助成制度創設を求める陳情書(委員会の継続審査の決定に対する賛否) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 15 | 3 | 継 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 陳情 | | | | | | 集団的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書の提出を求める陳情書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3 | 15 | 不 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 意見書案 | | | | | | 「手話言語法」制定を求める意見書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 18 | 0 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 意見書 | | | | | | 安定的な雇用と公正な労働環境の確保に関する意見書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 9 | 10 | 否 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 平成26年第3回(7月)臨時会 | | | | | | 市長提出 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工事請負契約の締結(デジタル式同報系防災行政無線整備事業) | 17 | 1 | 同 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※ 認…認定 可…可決 否…否決 承…承認 同…同意 採…採択 不…不採択 継…継続審査 ○…賛成 ●…反対 欠…欠席
※ 議長は可否同数の場合のみ表決権があります。(議長 議席番号21番 秋山 忠敏)



議会を傍聴してみませんか？



①市議会のホームページなどで日程を確認しましょう。



②まずは観音寺市役所までお越しください。



③階段を上って4階、議会事務局へ。



⑤議場に移動し、本会議を傍聴することができます。



④簡単な受付を済ませて、傍聴券を受け取ります。

※本会議では、市長部局から提案のあった議案の質疑や審議、議員の一般質問など、市民生活に直結した問題が議論されています。ぜひ議場までお越しください。
なお、ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。(☎23-3913)

視察に来てくれました

◆北海道江別市 26年5月14日
議会運営委員会……………8名
「議会報告会・意見交換会等の運営手法について」他

◆茨城県神栖市 26年5月15日
議会運営委員会……………13名
「議会の概要、議会改革の取り組みについて」
◆大阪府高槻市 26年6月30日
会派……………4名
「新市民会館建設について」

| 6月 | | | | | 5月 | | | | | 4月 | | | | |
|---------|----------------|-------|-------|---------|--------------------------|-------------|------------|------------|-----------|---------|-------------|-------------|---------|---------|
| 27日 | 26日 | 24日 | 20日 | 19日 | 21日~23日 | 20日~22日 | 14日 | 13日 | 12日 | 28日 | 21日 | 14日 | 8日 | 1日 |
| 広聴広報委員会 | 本会議 議会運営委員会 | 全員協議会 | 総務委員会 | 建設経済委員会 | 総務委員会行政視察 文教民生委員会行政視察 | 建設経済委員会行政視察 | 議会報告会(観音寺) | 議会報告会(大野原) | 議会報告会(豊浜) | 議会運営委員会 | 議会報告会打ち合わせ会 | 議会報告会打ち合わせ会 | 広聴広報委員会 | 広聴広報委員会 |

議会日誌

広聴広報委員会

編集後記

ざらざらと照りつける太陽の下、有明浜では、毎日、子どもたちがにぎやかに波と戯れ、庭の花もバラ、紫陽花から向日葵、朝顔と変化し、夏を感じています。

市議会は、議会報告会をはじめ、各委員会ごとに視察研修を実施し、市民の皆さまの声を、少しでも市政に反映できるように、日々、努力していきます。今まで以上に、議会に興味を持っていただき、身近に感じていただけるように、今後ともご指導をお願いいたします。



| | |
|-------|-------|
| 委員長 | 安藤 康次 |
| 副委員長 | 大平 直昭 |
| 篠原 重寿 | 石山 秀和 |
| 藤田 伸亮 | 五味 均 |
| 篠原 和代 | |



この議会だよりは環境にやさしい植物油インキを使用しています。